

産業革命と戦前日本の経済構造

*1 他方、昭和前期にいたるまで、工業機械の多くは欧米からの輸入に頼っていました。

*2 1882年、渋沢栄一がイギリス製の機械を導入した大阪紡績株式会社を設立しました。

*3 鉄道の多くは日露戦争後の1906年の国有鉄道法で国有化されます。

*4 この賠償金をもとに銀兌換制度から欧米並みの金兌換制度(金本位制)に変更します。

*5 三井・三菱・住友・安田の四大⑨が有名です。

*6 こうした実態を改めるため、1911年工場法が成立しましたが、実施は1916年でした。

●戦前の日本を支えた産業は、アメリカ向けの①_____業、アジア向けの②_____業、さらに製鉄・造船も含めた③_____産業でした。*1

●昭和前期まで、輸出品の中心はつねに④_____でした。

●日本の工業化を象徴するのは綿産業です。幕末は綿織物の輸入が中心でしたが、しだいに⑤_____の輸入が増え、明治20年代には⑤を輸出し原料の⑥_____を輸入するようになります。背景には、機械を利用した紡績工場が操業を開始したことがあげられます。*2

●日本の産業革命は日清戦争前後に、軽工業(①業や②業)からはじまりました。⑦_____の不景気を脱し、1880年代後半には、鉄道*3や紡績業を中心に会社設立ブームがはじまります。

●日清戦争後、産業革命が本格化し、1901年清の賠償金をもとに官営⑧_____が開業しました。*4

●恐慌などの不景気がおこると、政商は倒産した弱小企業を買収し、⑨_____へと成長していきました。*5

●①業や②業の労働力の多くは、⑩_____を強いられた10代を中心の少女たちに支えられていました。

少女たちは、貧しい農民の口減らしと家計補助のために来たもので、農民たちは得たお金で高額の⑪_____を支払っていました。

●農村の⑫_____制と非人道的な待遇*6におかれた女子労働者が、日本の輸出を支えられていたといわれます。

●農村や都市における貧困層の広がり⑬_____を狭くし、⑭_____市場への依存を強めました。このような経済構造が、軍隊を戦闘とした強引な海外進出の背景にあったといわれています。